10. 分数のたし算、ひき算を広げよう［分数のたし算とひき算］　単元計画 【新しい算数5下　東京書籍】

宮城県総合教育センター
学力向上研究グループ

単元の目標	(1) 分数の性質や約分、通分の意味、分数の相等及び大小について理解するとともに、異分母の分数の加減計算ができる。 (2) 単位分数に着目して、分数の相等及び大小関係や、異分母の分数の加減計算の仕方を図や式などを用いて考え表現している。 (3) 約分や通分の意味や、異分母の分数の加法及び減法の計算の仕方を、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。		
単元の評価規準	知識・技能 ①1つの分数の分子及び分母に同じ数を乗除してできる分数は、元の分数と同じ大きさを表すことを理解している。 ②分数の相等及び大小について知り、大小を比べることができる。 ③異分母の分数の加法及び減法の計算ができる。	思考・判断・表現 ①数を構成する単位に着目し、数の相等及び大小関係について考察することができる。 ②分数の意味や表現に着目し、計算の仕方を考え、表現している。	主体的に学習に取り組む態度 ①約分や通分の意味や、異分母の分数の加法及び減法の計算の仕方を、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
小単元	(1) 分数のたし算、ひき算と約分、通分					(2) いろいろな分数のたし算、ひき算		(3) 時間と分数	まとめ	単元末テスト
目標	異分母の分数の加減計算について、分母を揃えることの意味を考え、説明する。 (教科書P.2～4)	分数の分母と分子に同じ数をかけても、同じ数でわっても、分数の大きさは変わらないことを見いだし、大きさの等しい分数のつくり方を説明する。 (教科書P.5～6)	「約分」の意味について理解する。 (教科書P.7～8)	「通分」の意味について理解する。 (教科書P.9～11)	異分母の分数の加減計算の仕方や答えの表し方を考え、説明する。 (教科P.12)	異分母の帯分数の加減計算の仕方を理解し、その計算ができる。 (教科書P.13)	分数と小数の混じった加減計算の仕方を、数の表し方に着目して考え、説明する。 (教科書P.14)	分数を用いた時間の表し方を理解する。 (教科書P.15)	学習内容の定着を確認するとともに、単元の学習を振り返り価値付ける。	

毎時の評価規準　（○指導に生かす評価　●記録に残す評価　※①②③は単元の評価規準を参照）

知識・技能【知】				○大きさの等しい分数のつくり方を理解し、大きさの等しい分数をつくることができる。	①	●分数の性質を使った約分の仕方を理解し、約分することができる。	②	●分数の大きさの比べ方を理解し、異分母の分数を通分することができる。		○異分母の分数の加減計算の仕方を理解し、計算ができる。	③	●異分母の分数の加減計算の仕方を理解し、計算ができる。			③	○時間を、何等分かしたうちの幾つ分と捉え、分数で表すことができる。			③	●単元で学習したことを基に、問題を解決することができる。
思考・判断・表現【思】	①	○異分母の分数の加減計算の仕方について、単位分数に着目して、分母を揃えることの意味を考え、説明することができる。	①	●大きさの等しい分数間にあるきまりを見いだし、大きさの等しい分数のつくり方を考え、説明することができる。			①	○通分の仕方を、分母の最小公倍数に着目して考えている。	②	○異分母の分数の加減計算の仕方を、単位分数の意味や分数の表現に着目して考え、説明することができる。			②	●分数と小数の混じった加減計算の仕方を、分数と小数の表し方に着目して考え、説明することができる。			①	●数学的な着眼点と考察の対象を明らかにしながら、単元の学習を整理している。		
主体的に学習に取り組む態度【主】	①	○異分母の分数の加減計算は、分母を揃えると計算できることに気付き、大きさの等しい分数を見付けようとしている。											①	○分数と小数の混じった加減計算の仕方を、既習を基に考え、学習に生かそうとしている。			①	●単元の学習を振り返り、価値付けたり、今後の学習に生かそうとしたりしている。		

学習の流れ（目安：分）　と　学習形態（★前時に課した家庭学習との関連、※デジタルドリル活用　△教科書の問題番号）

時間 ＼ 家庭学習	※ＡＩドリル(4年11-まとめ)		※共通ドリル(5年11-2)		※ＡＩドリル(5年10-1)		※共通ドリル(5年11-4、11-5)		※ＡＩドリル(5年10-2)		※ＡＩドリル（5年10-3）		※共通ドリル(5年11-17)		※ＡＩドリル(5年10-6)		※ＡＩドリル(5年10-7、10-8)		※ＡＩドリル(5年10-5)	
0	一斉	❶<既習内容の確認> 分数と小数の関係や同分母の分数の加減計算の仕方について確認する。	一斉	❶<★前時の確認> （習熟タイムや家庭学習で、つまずきが見られた問題）	一斉	❶<★前時の確認> （習熟タイムや家庭学習で、つまずきが見られた問題）	一斉	❶<★前時の確認> （習熟タイムや家庭学習で、つまずきが見られた問題）	一斉	❶<★前時の確認> （習熟タイムや家庭学習で、つまずきが見られた問題）	一斉	❶<★前時の確認> （習熟タイムや家庭学習で、つまずきが見られた問題）	一斉	❶<★前時の確認> （習熟タイムや家庭学習で、つまずきが見られた問題）	一斉	❶<★前時の確認> （習熟タイムや家庭学習で、つまずきが見られた問題）	一斉	❶《パフォーマンス課題》 第1時で提示された課題を再度把握する。	個別	❶ＣＢＴ単元テスト【知】 **(分数のたし算とひき算)**
5		❷《パフォーマンス課題》 提示された課題を把握する。				❷「約分」の意味を知る。		❷「通分」の意味を知る。	個別・協働	❷1/6+3/8の計算の仕方を考え、説明する。【思】	個別・協働	❷(2 3/4)－(1 2/3)の計算の仕方を考える。	個別・協働	❷2/5+0.3の計算の仕方を考え、説明する。【思】	個別・協働	❷分数を使った時間の表し方を考える。	個別・協働	❷《パフォーマンス課題》 本棚の寸法が配置場所に適しているか判断する。【思・ルーブリック評価】		
10	個別	❸数直線を使って、1/2、1/3と大きさの等しい分数を見付ける。【主】	個別・協働	❷大きさの等しい分数の見付け方を考え、説明する。【思】	個別・協働	❸約分の仕方を考える。	個別・協働	❸通分の仕方を考え、説明する。【思】												
15	個別・協働	❹1/2+1/3の計算の仕方を考え、説明する。【思】							個別	❸答えの表し方を考える。【知】	一斉	❸異分母の帯分数の計算の仕方をまとめる。	個別・協働	❸2/3+0.5の計算の仕方を考える。【主】			一斉	❸分数を使った時間の表し方をまとめる。		
20			個別	❸分数を小数に表して、大きさが等しいことを確かめる。【知】	個別	❹適用問題に取り組む。【知】 教科書P.8△2、3	一斉	❹通分の仕方をまとめる。	一斉	❹計算の仕方と答えの表し方を振り返り、まとめる。	個別	❹適用問題に取り組む。【知】 教科書P.13△1、2	一斉	❹分数と小数の混じった加減計算の仕方をまとめる。	個別	❹40秒を分数で表す。				
25	一斉	❺異分母の分数の加減計算の仕方をまとめる。	一斉	❹大きさの等しい分数のつくり方をまとめる。			個別	❺3つの分数を通分し、大きさを比較する。	個別・協働	❺習熟タイム ・ステップ0 ・ステップ1 **※共通ドリル(5年11-11)** 教科書P.12△7、8 ・ステップ2 ・ステップ3 〈意味付け〉〈概念形成〉 〈活用問題〉〈問題づくり〉 〈探究活動〉から適切なものを設定する。	個別・協働	❺習熟タイム ・ステップ0 ・ステップ1 **※共通ドリル(5年11-16)** ・ステップ2 ・ステップ3 〈意味付け〉〈概念形成〉 〈活用問題〉〈問題づくり〉 〈探究活動〉から適切なものを設定する。	個別・協働	❺習熟タイム ・ステップ0 ・ステップ1 **※共通ドリル(5年11-18)** 教科書P.14△3 ・ステップ2 ・ステップ3 〈意味付け〉〈概念形成〉 〈活用問題〉〈問題づくり〉 〈探究活動〉から適切なものを設定する。	個別	❺適用問題に取り組む。 教科書P.15△1【知】		
30	個別・協働	❻習熟タイム ・ステップ0 ・ステップ1 **※共通ドリル(5年11-1)** ・ステップ2 ・ステップ3 〈意味付け〉〈概念形成〉 〈活用問題〉〈問題づくり〉 〈探究活動〉から適切なものを設定する。	個別・協働	❺習熟タイム ・ステップ0 ・ステップ1 教科書P.6△1、P.16△1 ・ステップ2 ・ステップ3 〈意味付け〉〈概念形成〉 〈活用問題〉〈問題づくり〉 〈探究活動〉から適切なものを設定する。	個別・協働	❺習熟タイム ・ステップ0 ・ステップ1 **※共通ドリル(5年11-3)** ・ステップ2 ・ステップ3 〈意味付け〉〈概念形成〉 〈活用問題〉〈問題づくり〉 〈探究活動〉から適切なものを設定する。	個別・協働	❻練習問題に取り組む。 教科書P.11△4【知】															一斉・個別	❷即時返却された結果を確認し、解説も参考にしながら誤答箇所の解き直しを行う。 **※ＡＩドリル（5年10-まとめ）**を家庭学習とする。
35							個別・協働	❼習熟タイム ・ステップ0 ・ステップ3 〈意味付け〉〈概念形成〉 〈活用問題〉〈問題づくり〉 〈探究活動〉から適切なものを設定する。							個別・協働	❻習熟タイム ・ステップ0 ・ステップ1 **※共通ドリル(5年11-19)** ・ステップ2					
40																	個別	❸<単元の振り返り>【主】	個別	❸<振り返り>
45																				